



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)

#1156

11.05.2025 (136)

# 戦争中のヒトラー 何が起こったのか？

A.V.シャーフェンベルク著

## パート3

### 第2章

### 敗北の根源

*「我々の歴史において、敵の強さによって敗北したことは一度もない。*

*アドルフ・ヒトラー『我が闘争』第2巻第15章*

ドイツ人にとっての軍隊は、アメリカ人にとっての合衆国憲法であり、イギリス人にとっての君主制である。どの民族も、自分たちのアイデンティティを最も深く示すものを文化の中に必要としている。フリードリヒ大王やオットー・フォン・ビスマルクの名を受け継ぐドイツ人が、軍隊を自国を最もよく象徴する機関とみなしたのも不思議ではない。しかし、ビスマルクが解任されると、ドイツ参謀本部は無力な王家を憲法上の隠れ蓑

として利用し、この国の実権を握るようになった。19世紀後半から第一次世界大戦の終結まで、この国は従順な君主制という見せかけの裏で、軍の階級意識の高い貴族たちによって、たとえ象徴的なものであっても支配された。しかし、1918年11月の屈辱により、彼らは社会民主党をはじめとするマルクス主義者たちによって政府から追い出された。1920年代を通じて、将軍たちは保守資本家の目に見える象徴として、また軍事力として、徐々にかつての影響力を取り戻し始めた。ドイツは左派と右派の利己的な勢力に引き裂かれていた。

アドルフ・ヒトラーのイデオロギー的な階級協力運動が起こったとき、この反動主義者たちは激しく反発した。彼らの目標は君主制の復活であり、フーゴ・フォン・ヒンデンブルク将軍のような、ベールに包まれた、知的に空虚な人物の後ろに、国の貴族たちが薄っぺらな威厳で支配することができた。表向きは愛国的だが、彼らの「ドイツ」という概念はプロイセンと自分たちの上流階級に限定されていた。中産階級の人々は下品な商人として見下され、いわゆる「プロレタリアート」は農民の別名にすぎなかった。さらに、他のドイツ国家は、二次的な重要性に追いやられ、優れた貴族に支配されるだけだった。

バイエルン、ポメラニア、その他すべての州のドイツ兵の士気を低下させたのは、当然のことながら、こうした我慢できない俗物根性だった。このような階級や地域の分裂は、第一次世界大戦中、連合軍のプロパガンダによってうまく利用された。1923年11月9日、ミュンヘンで16人の非武装の同志が上流階級将校の命令で帝国軍兵士に射殺されたとき、国家社会主義を最初の血祭りにあげたのも、同じ階級意識の保守派だった。

10年後、アドルフ・ヒトラーが新政権を樹立するために選挙で選ばれたとき、彼の最大の課題は、ドイツの象徴的な機関としての軍隊を維持する一方で、フォン・ヒンデンブルクのようにヒトラーを傀儡として使おうとする、あるいはヒトラーをプロイセンの従順な君主に完全に取って代わろうとする、憎悪に満ちた貴族たちの敵意をかわすことだった。総統とその側近たちは、1933年の政権奪取のはるか以前からこの問題を予期していたが、その解決策については意見が分かれていた。ヒトラーは、旧軍の幹部たちにはできるだけ早く手厚い年金を支給し、現役生活を全うさせるべきであり、彼らの階級は着実に国家社会主義者にとって代わられるべきだと考えた。

このような手続きには時間がかかるが、合法的であり、参謀本部の反対

を招く可能性は低かった。他の者は、陸軍将校が徐々に引退することが彼らの貴族的野心にもたらす結果を理解せずにはいられないことを恐れており、イデオロギー的に健全な党員を直ちに補充するよう促した。参謀本部は国家社会主義に対する敵意の巣であり、したがって、特に第三帝国が戦争に突入した場合には、大きな内的危険性をはらんでいることは誰もが認識していた。スターリンは、信頼できない旧帝国陸軍将校を粛清し、政治的に信頼できる人物を配置した。ヒトラーもそうすべきだ。ストームトループ（S.A.、シュトルマバイルンゲン）の参謀長エルンスト・ローエムのような人物はそう考えた。

1934年6月下旬、ローエムは保守派の陸軍将校を自分のストームトルーパーに強制的に置き換えようとした。彼はヒトラーがこの動きに反対していることを知っていたため、ヒトラーの殺害も計画した。S.A.の指導者の意図を知った総統は、軍との対立が起こる前にローエムを自ら逮捕した。ヒトラーが忠実な褐色シャツ隊員を迫害したのは、陸軍上層部の機嫌を取り、S.A.を「より信頼できる」S.S.に置き換えるためだと主張する従来の歴史家の説は嘘である。この企てを鎮圧したことで、ヒトラーが暴力を使って軍を乗っ取るのではないかという参謀本部の不安は確かに解消されたが、軍を国家社会主義化する計画にも支障をきたした。

貴族たちは、イデオロギー的に信頼できる人物を軍隊に充てようとするあらゆる努力に頑強に抵抗し、その中に潜り込んだ。わずか5年後に戦争が始まったとき、国防軍は依然として、国家社会主義に真っ向から反対し、自国を裏切ってでも国家社会主義を破壊しようとして躍起になっている上品な俗物たちに支配されていた。帝国軍情報部のトップであったヴィルヘルム・カナリス提督（この人物については後に詳述する）は、仲間の裏切り者を代表して、「ドイツの勝利は敗北よりも大きな破局となるだろう」と語った。

言い換えれば、カナリスと彼の上流階級の人々は、ヒトラーの成功よりも、連合軍のテロ爆撃の主な犠牲者である何百万人ものドイツ人女性と子供の焼却を好んだのである。このような深遠な反逆は、貴族のメンタリティという文脈でしか理解できない。国家社会主義の階級的協力関係、つまり、ドイツの一般労働者が裕福な貴族と肩を並べ、等しく価値ある社会の一員となることに、肉体的な反感を抱いていたのだ。彼らは、自分たちの最高司令官が、愚かにも彼を大統領に選んだ下層階級の単なるオーストリア人で低俗な商人であることに、ただただ慥然としていた。しかし、貴

族たちの彼に対する軽蔑は、この元陸軍伍長が戦場で常に勝利を収め、ほとんど常に自分たちの専門的な（時代遅れとはいえ）戦略に反したとき、殺人的な怒りに変わった。愚かな人間を怒らせる最も効果的な方法は、彼が愚かであることを教えるのではなく、彼が愚かであることを彼に示すことである。ヒトラーはこれを保守派の将軍たちに繰り返し行い、彼らの容赦ない敵意を買った。

ヨーゼフ・ゲッペルス博士は、おそらく他の指導者たちの中でただ一人、わずか11年前に引き起こされた恐ろしい結果をはっきりと理解していた。1945年3月27日、自国が燃え盛る廃墟と化す中、彼は旧参謀本部貴族たちがドイツに戦争をもたらしたことを悟った：「私は総統に、1934年に国防軍を改革する機会があったにもかかわらず、残念ながら改革に失敗したことを長々と指摘した。もちろん、レームが望んだこと自体は正しかった。もしレームが高潔で堅実な人格者であったなら、おそらく6月30日には、何百人もの国防軍幹部ではなく、何百人もの将兵が銃殺されていただろう。そして今日、私たちはその影響を感じている。その年、帝国軍を変革する機は熟していた。しかし、総統はその機会をつかむことができなかった。”

ヒトラーは塹壕戦での最前線経験以来、参謀本部を自国の伝統的価値あるものすべての縮図、ドイツ民族の堅固な支柱として常に賞賛していた。しかし、その階級意識の強いマルティネットに次第に幻滅し、苦い失望を味わった。戦争が始まって、彼は彼らを尊敬の念で見ている。遅まきながら、彼は陸軍上層部のほとんどを以前は深く尊敬していたことを後悔するようになった。「戦争末期、征服したポーランド総督ハンス・フランクに、「何年もの間、赤縞の派手なブリーチをはいた紳士たちは、モルトケとシュリーフェンの原則を裏切り、忘れ、売り渡した。この僭越なユンカー・カーストは、現実には、まどろっこしい、空回りした、着ぐるみの寄せ集めにすぎない」（イネス、18）。彼らはすぐに裏切り者であることがわかるだろう。

党と陸軍の間には、1930年代初頭を通じて不穏な協定が結ばれていた。しかし、1935年になると、海外からの脅威の高まりに直面し、ヒトラーの再軍備計画に参謀本部は激しく反対した。ルール危機、チェコ危機、オーストリア危機の際、参謀本部の将校たちは勇気や決意を著しく欠いていた。そこでヒトラーは1938年2月4日、*国防軍最高司令部*（OKW）総司令官に就任した。多くの高級将校は、元オーストリアの伍長から命令を受け

なければならぬことに憤慨した。翌年、彼らの反対は、合法的な政府を乗っ取ろうとするいわゆる「将軍たちの陰謀」として地下に潜った。しかし、陰謀を企てた者たちの臆病さによって、この計画は失敗に終わった。1939年9月に第二次世界大戦が開戦すると、陸軍上層部は当初、ポーランドでの作戦は「勝ち目がない」として緊急に抵抗した。歴史の流れに引きずられて不本意ながら戦場に投入された後、彼らの使い古された1914年式の戦略は、開戦から2週間で戦争をほぼ失いかけた。その後のほとんどすべての作戦、さらには多くの戦闘に対する参謀本部の抵抗は、一般兵士の勝利への努力を妨害し続け、最終的に戦争は敗北した。

ヒトラーは、第一次世界大戦におけるドイツの敗戦に言及し、『我が闘争』の初期の段階で、軍事的災難は常に外的な弱点よりもむしろ内的な弱点の結果であるとして書いていた。この見解は、保守的なドイツ国防軍を擁するヒトラー自身の帝国にも、若い兵士として直接体験した紛争にも当てはまるものだった。1939年に戦争が始まったとき、第三帝国の政府および軍部で役職に就いていた者の4分の3は、ワイマール共和国時代に任命された者であった。国家社会主義者はほとんどいなかった。ヒトラーに多かれ少なかれ好意を抱いていた者もいたが、大半は貴族的な日和見主義者で、自分たちの階級の福祉と維持につながる命令でなければ従わなかった。

戦争のずっと後期、1944年の暗黒の時代にヨーロッパが命がけで戦っているとき、総統閣下は、自国の兵士800万人のうち、戦線に送られたのはわずか26万人だと知って愕然とされた。どこへ行っても恐ろしく劣勢だったのも無理はない！同年5月、ソ連軍は予想外にドイツ軍の南方戦線を突破し、セヴァストポリへの急速な後退を余儀なくされた。

おそらく、貴族的反逆の最も決定的な例は、1941年夏に起こった。それまでヒトラーの対ロシア攻撃は完全な成功を収めていたが、それにほとんど反対していた陸軍将官たちは驚き、また仕事上の嫉妬を覚えた。今や彼らは、すでに勝利したも同然の作戦の全指揮（と手柄）を握ろうとしていた。総統は当初から、冬が来る前に敵を撃破し、速やかに勝利を収めるべきだと主張していた。なぜなら、ドイツには長期戦に必要な資源がなかったからである。そしてロシアは、どんな軍隊も停止させるような悲惨な天候で悪名高かった。時間内に成功を収めるためには、石油、鉄、マンガンなどのソビエトの供給源を破壊するか、占領することが戦略上の最大の目標であった。しかし、ソ連の将軍たちは反対した。代わりに、ソ連の工業

地帯を攻撃すべきだと主張した。ヒトラーは、イギリスがドイツ空軍の手の届かないところに工場を撤去できたのなら、ロシアもできるはずだと指摘して反論した。それに、戦争工場は再建や移転が可能だ。石油や鉱物の損失はもっと深刻で、それがなければ操業できない。多くの工場を失ったとしても、天然資源を失ったことに比べれば大したことはない。したがって、ソ連の主要供給源であるウクライナを征服することが何よりも重要だった。ヒトラーは8月下旬に腹部のけいれんで倒れるまで、その戦略は勝利を収め、ドイツの兵器も勝利を収めた。

3週間近く、彼は連絡が取れなかった。十分に回復して再び東部戦線の指揮を執るようになったとき、彼は将軍たちが彼の病気に乗じて軍をモスクワに向かわせたことを知り、憂慮した。国防軍の部隊はロシアの首都近郊に到達したところで、観測史上最悪の冬の嵐に見舞われ、進撃は麻痺した。ちょうどその時、ソビエト軍が反撃に転じ、ドイツ軍を撃退しただけでなく、真っ逆さまに後退させた。さらに悪いことに、ヒトラーは、十分な天然資源を欠く長期戦に直面することになった。ヒトラーの戦略が維持されていれば、ソ連は降伏を余儀なくされていたであろう。それどころか、参謀本部のおかげで、戦争は総統がドイツに有利な状況に戻すのが難しい絶望的な転換点に達していた。

貴族の裏切り者たちのほとんどは、自分たちが招いた敗戦を生き延び、ヒトラーを自分たちの忠告に耳を貸さなかったために戦争に負けた狂気の素人であると同様に描いた、自分たちなりの出来事を出版した。彼らの大半は、戦後のニュルンベルク裁判というカンガルー法廷の「正義」から逃れ、彼らの階級が常に慣れ親しんできたのと同じような快適な安楽の中で一生を終えた。そして、自分たちの無能と裏切りを隠すために公表された戦争に関する彼らの嘘のせいで、外の世界はいまだにあの紛争の本当の指揮についてだまされているのだ。

第二次世界大戦のどの要因よりも、ドイツ参謀本部が犯した反逆がその結果を招いた。



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSPRUCH DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

September 1944      September 1973      26. April 2017 (100)

**Der Kampf geht weiter !**

Seitlang haben nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 die nationalsozialistische Bewegung wieder als zu potent in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Kämpfe von Nazimilitar, Vertriebung, Verfolgung und Verdrängung haben nicht aufgehört, die Kräfte der gesamten Idee unserer hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind weniger arbeiterliche Soldaten und Kampfgewinnenden Arbeiter als Schüler im Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völker.

Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Größe des biologischen Volkstums ist heute noch nicht größer als in der Vergangenheit.

Ein notwendiges Gegenstück ist aber dabei, den Volkstümmern gegen alle weißen Völker (?) zu begegnen. Jedes Mittel und jede Methode, Überlebensfähigkeit und Fortschrittlichkeit.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob auf Propagandaplattformen weltweit oder auf einem Schiffsfeld unter dem Amt Hitler Nationalsozialisten ist unser Pflicht!

Hail Hitler!  
Gottfried Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



N.S.ニュース速報A  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005      19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート  
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind ([www.mourningtheancient.com/truth.htm](http://www.mourningtheancient.com/truth.htm))に集中して取り扱っています。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の物語は、まさに情報の堆積層です。1つのことについて情報を集めても、さらにはつづいて調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 179 (177)      Founded 1973      April 26, 2022 (135)

**The Fight Goes On !**

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware Europeans and racial kinemen fight side by side for the preservation of the White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

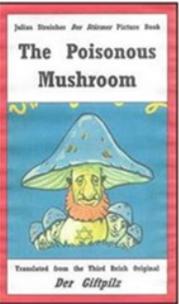
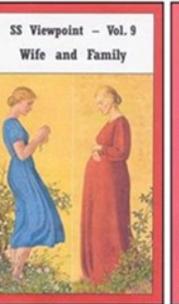
Hail Hitler!  
Gottfried Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichführer SS Heinrich Himmler</p>  <p>Translated from the SS Original</p>	<p>Julius Streicher der Führer Führer Book</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reinhold Bollmann</p> <p>Hitler in Italy</p>  <p>English / German    Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint - Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im Bild</p>  <p>English - German / Deutsch - English</p>
---	---	--	---	--	--

**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to  
find out how  
YOU can help!